令和８年度　第２回　大東市環境審議会　会議録

○　日　　時　　令和８年９月１１日（金）　１０：００～１２：１０

○　場　　所　　大東市立市民会館４階　大会議室

○　出席委員　　花田会長、三ツ川副会長、北村委員、中原委員、髙橋委員、池田委員、
平田委員、箭木委員、東野委員、吉村委員、川口委員、硲委員、
吉岡委員、田渕委員
※委員名簿掲載順

○　欠席委員　　城戸委員

○　大 東 市　　市長　逢坂
事務局　　市民生活部　部　　長　竹田
総括次長　藤原（兼務）
環境室　室　　長　藤原
課　　長　大角
課長補佐　中田
上席主査　道木、堀田
課　　員　角江

○　傍 聴 者　　無し

○　当日次第
１　開会
１）委嘱状交付
２）市長あいさつ
３）委員紹介
２　議事
１）議題１：会長及び副会長の選任
２）議題２：第２期大東市環境基本計画の実績
３）議題３：大東市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の実績
４）議題４：その他報告
３　閉会

○　配布資料
１　会議次第
２　資料一覧
３　委員名簿
４　配席図

５　【資料１－１】第２期大東市環境基本計画令和７年度進捗評価のための指標
　　【資料１－２】第２期大東市環境基本計画重点プロジェクト実績評価
６　【資料２】２０２５年度実績報告書（事務事業編）
７　【資料３】資源ごみ等の持ち去り禁止に係る市内パトロールについて
８　【資料４】警報発令時のごみ収集について

１　開会

１）委嘱状交付

２）市長あいさつ

３）委員紹介

２　議事

議題１：会長及び副会長の選任

今期（令和８年８月１日～令和１１年７月３１日）の会長及び副会長について、大東市環境審議会規則第２条第４項に基づき、委員の互選により次のとおり決定した。

会　長：花田委員

副会長：三ツ川委員

議題２：第２期大東市環境基本計画の実績

＜意見等＞

事務局	【資料１－１】及び【資料１－２】について説明
委員	資料１－１について、環境基準達成状況については大気、水質、騒音で未達成の項目があるが、それぞれどの項目が達成できなかったのか。 また、公害に関する苦情件数について、どのような苦情が多かったのか。
事務局	大気については光化学オキシダントが、水質については寝屋川上流の大腸菌数が、騒音については国道１７０線に近接する空間における昼と夜の騒音レベルがそれぞれ未達成であった。 また、公害に関する苦情件数については、騒音関係が一番多く、次いで悪臭関係が多かった。
委員	光化学オキシダントについては、なかなか市として対策することは難しいところである。また、騒音については生活騒音に関する苦情が増えてきており、悪臭については飲食店に関する苦情も多いと聞いている。 水質について、大腸菌数が未達成ということであるが、これは毎年未達成なのか。
事務局	毎年未達成というわけではなく、年によって値に増減があり、昨年度については未達成となった。
委員	光化学オキシダントが未達成ということであるが、光化学スモッグの注意報は出ているのか。
委員	光化学スモッグ注意報は、昔に比べると近年は減ってきている。しかしながら、まだ発令回数はゼロにはなっていない。 光化学オキシダントの環境基準については、全国的に達成率が低いというのが現状である。
委員	光化学オキシダントは、昔は昼間に高かったが、最近は夜でも高いようである。 市で対策できることはあるか。
委員	市で対策することは難しいのではないか。
委員	次の議題にも関係するが、地球温暖化対策実行計画について説明しておきたい。大東市の地球温暖化対策実行計画は事務事業編と区域施策編の２つある。市役所も事業者のように活動するので、温室効果ガスを排出してしまう。この行政活動の中で排出される温室効果ガスの削減計画が事務事業編である。区域施策編は大東市域全体としての削減計画である。 また、その上位計画である環境基本計画の策定の際には、中高生のワークショップが開催された。成果発表会に参加したが、自分たちの学校でもこういうことをやってみようという内容があり、人任せでなく、自

	分たちで何とかしようというところに頼もしさを感じた。 　大東市が市内の小学校で実施している環境教育も、例年は３校での実施であったが、今年度は４校に増えた。
委員	資料１－２について、「２.環境情報をわかりやすくするプロジェクト」の実績にチラシを配架したとあるが、成果として評価しにくいのではないか。１００部配架したが、２０部余ったというように、数値で管理できないのか。 　また、フェイスブックやホームページ等の閲覧数はわかるのか。発信しているだけでは意味がないのではないか。
事務局	チラシの配架について、何部減ったのかという具体的な数値は把握していないが、あまり減っていないというのが実際のところである。また、フェイスブックについては、各投稿に対して１００件前後の閲覧がある。ホームページの閲覧数については把握できていない。 　本市の公式ラインにおける環境についてのセグメント登録者が１０００人弱いる。環境についての情報発信としては、簡単な省エネ豆知識のようなものを今月から１年間配信しようと考えている。これからはプッシュ型の方策をとっていきたい。
委員	資料１－２について、実績評価の項目であるが、数値が記載されていないので評価しにくい。 　フェイスブックの投稿やラインの配信であれば閲覧件数はわかると思うので、数値を記載しておくと実績評価しやすくなるのではないか。
事務局	評価しやすいよう、今後は数値を示す等の工夫をしていきたい。
委員	ラインでは、市民から情報を受取ることはできるのか。市民から写真等を送ってもらえるような仕組みがあると、環境に対する興味も上がるのではないか。
事務局	システム的な問題で難しいと聞いている。
委員	フェイスブックの閲覧数は、年間か月間かいずれであるのか。
事務局	閲覧数であるので、投稿時点から確認日までの総件数である。
委員	ホームページの投稿頻度はどの程度であるのか。
事務局	イベント開催時、フードドライブや河川清掃等の実施時に随時発信している。また、ウォータースタンドの計量結果を毎月発信している。
委員	発信は手段であって、目的は情報を届ける事であるので、より具体的な目標に見直してはどうか。
委員	ラインで環境審議会の報告をすると、傍聴者が増えるかもしれない。 　情報発信の成果目標については、事務局で検討していただきたい。

議題３：大東市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の実績
＜意見等＞

事務局	【資料２】について説明
委員	電気の排出係数は毎年変わるのか。
事務局	例えは関西電力の場合は、年によって火力発電、原子力発電や再エネ発電の比率が変わるので、それに応じて排出係数も変わる。 電気事業者によって排出係数が変わる要因は異なるが、事業者ごとの要因については把握できていない。
委員	関西電力については、過去に東日本大震災を契機に原発が止まった時に火力発電に切り替えたので、排出係数が大きくなったことがある。 また、非化石証書で排出量を下げていることも、排出係数に影響する。 グリーンパワー大東は木質バイオマスで発電しているが、その排出係数が変動する要因はわかるか。
委員	再生可能エネルギーで発電した電気については、ＦＩＴ制度で電気の需要家から再エネ賦課金を徴収して成り立っている。木質バイオマス発電は環境に優しいクリーンな電気であるが、その環境価値は電気から切り離し、環境価値自体は国民に帰属している。 グリーンパワー大東では非化石証書を使用しており、また、木質バイオマスはカーボンニュートラル燃料であるので、燃やした時の温室効果ガス排出量はカウントされず、排出係数が低くなっている。 排出係数の値については、再エネの電源や原子力の電源の比率など、電源構成で変わってくる。他にも、非化石証書をあてるかどうかで基礎排出係数や調整後排出係数に分かれる。
委員	再エネの発電所は排出係数０にはならないのか。
委員	電気から環境価値を切り離しているので、排出係数は０にはならない。 発電事業者が環境価値を持ってしまうと、再エネ賦課金を貰いながら環境価値を売ることになってしまう。
委員	他の市町村であれば、再エネ電力に切り替えようと思っても難しいが、大東市は木質バイオマス発電所が市内にあるので、ありがたい話である。 資料には事業者ごとの排出係数が記載されているが、事業者ごとの受電割合も知りたい。
事務局	資料には記載していないが、事業者ごとの受電割合は算定できるので、次回の報告書から記載したい。
委員	排出量を減らすには、排出係数が小さい事業者に切り替えていく方法があるが、消費量そのものがどうなったかを示すことも必要である。事務事業編と区域施策編の両方において、消費量削減の取組効果を見せるとモチベーションにもつながる。そのうえで、ハード面やソフト面の取組効果を削減実績の要因に記載するといいかと思う。

議題４：その他報告

＜意見等＞

事務局	【資料３】及び【資料４】について説明
委員	一般廃棄物処理基本計画において、ごみの最終処分量が減少傾向にあるが、どのような取組をしてきたのか。
事務局	令和５年度からペットボトルの分別収集を開始し、一般ごみではなく資源ごみとして回収している。また、食品ロス等の取組で市民の意識が向上したと考えている。
委員	一般ごみの中に資源できるものが混ざっているのはもったいないので、分別収集の取組を引き続き進めてほしい。 資料４のごみ収集については、どのように周知していくのか。
事務局	市ホームページやフェイスブックへの掲載、ごみアプリでの配信、ごみカレンダーへの掲載といったことを予定している。また、内容が固まったら、区長会を通じて案内予定である。
委員	昨今の異常気象への対応について、鉄道でも計画運休が浸透してきているので、市民からの理解は得られるのではないか。
委員	資料４について、気象警報によってはごみが収集されないという情報は、市民にとって大切な情報である。ホームページやフェイスブックを見ていない市民もいるので、民生委員等にも協力してもらってはどうか。
委員	教育委員会を通じて、学校からも保護者に通知してはどうか。
事務局	様々な手段を活用して、できるだけ広く周知したい。

３　閉会

以上